

日本の政治・社会・経済がリズム、テンポ、ハーモニー取り戻すとき!!

原 禮之助

世の中のことすべてにリズム、テンポ、そしてハーモニーが存在する。大は宇宙における太陽、月、地球、惑星の動きから小は原子のなかの電子の動きまで、同様である。

同じことは人間の個人、集団等の行動、人間社会にも当てはまるが、幸福感にあふれた人にはリズム、テンポ、ハーモニーがみられる。発展している会社はリズムがあり、適正なテンポ、そして各分野のハーモニーが存在する。政治にもこのことはいえる。活気のある政治・社会はリズム感に溢れ、テンポも適正である。種々の異なった考えが存在しても、全体としてハーモニーが存在する。

最近流行しているダンス。ダンスは人間がこれを通しリズム、テンポ、ハーモニーを実体験できる最良の方法だ。ダンスというときすぐ社交ダンスを思い出す。リズム、テンポ、ハーモニーはすべての踊りに共通する。ただ社交ダンスのよいところはモダンの4種目（ワルツ、フォックストロット、タンゴ、クイックステップ）とラテン5種目（ルンバ、チャチャ、サンバ、バソドブレ、ジャイブ）を通し異なったリズムとテンポを体験できることだ。この点ハワイアンといわれるフラダンスなどはリズムもテンポも限られる。（閑話休題）

さて、ダンスを例にとって現代の政治・社会をながめる。さきの自民党政権の末期ではリズムもテンポも乱れハーモニーも存在しなかった。ダラダラとした、

ブルースよりものろいテンポ、リズムは失われ、ハーモニーも存在しなかった。

戦後60年も旧態依然で続いた旧政権と、生まれたばかり、^{半年足らず}260日経たず「新
政権」しかも、武骨の士と女性党首を「連立政権」に取り込んだ現状を、この
ようなコンテキストで対比するのは、あまりにも性急である。³³しかしいずれに
して、広汎多岐な真の改革がもしも国民の多数の意志のもと完成されたら、そ
のときは、日本の文化は、上記の音楽の基本的要素のうち世界の範たりうる「ハ
ーモニー」ができ、ついで我々国民は生き生きと活動しているはずだ。

当面の懸念事項の若干

さて、当面の難事を思いつくままに・・・・

心配するのは政治だけではない。産業界にもリズム、テンポ、ハーモニーの喪失は当てはまる。今後の市場の発展は国連工業開発期間（UNIDO）によると The Bottom Ten Billion（底辺の10億人）にあるといわれる。その The Bottom Ten Billion の多いアフリカの諸国、そこでみられるものは中国、韓国企業の躍進だ。同じことはアジアにも当てはまる。中国、韓国の企業はリズム感に溢れテンポも速く、政官財一体となったハーモニーが存在する。

アメリカの時代は去ったという。しかしアメリカをあなどってはいけない。多民族が集まった多民族文化による活気溢れるリズムと、ものごとを進める早いテンポ、そして政官財一体のハーモニーがみられる。多民族、多文化国家の米国、中国、ロシアにおいてすらリズム、テンポ、ハーモニーがみられる。これに対しほぼ単一文化国家日本にテンポ、リズム、ハーモニーの喪失がみられる。

事業取分け、科学技術、文化事業の予算に手を入れられ問題となった。殊にス

ーパソコンピューター、ノーベル賞受賞者や旧帝大と主な私学の学長の声明の
是非はさておき、スーパーコンピューター、万能細胞の研究等は今やろう・・・
という強いリズムとテンポ感がある。ここでくじくとすべて終わる。社交ダン
スの競技、クイックステップでもジャイブでもよい。4拍子で力強く踊り始め
た、そのとたん待ったをかけられるようにもみえる。踊る意義はあるんですか、
なんでトップダンサーを目指すのですか、No. 2でも生活できるじゃないで
すか。びりでは踊りを続ける気分を失う。これに比し何年続けても結果のでな
い研究、文化事業も存在する。テンポはブルースよりものろい。ただ従来から
やっているから、こうしたブルース調のプロジェクトは切**るべきだ**。バックミ
ュージックのようなもので、その文化の基盤に根ざすもの。評価が難しい。

をどうするか
こやい

人生はリズム、テンポ、ハーモニーだ。このうちもっとも重要な要素はハーモ
ニー、ハーモニーがあつてこそリズムもテンポも成立する。個々の個人が構成
する人間社会、個人のハーモニーは食生活と運動を主体とした規則正しい生活
により作られる。食事も偏食、運動もしない、そしてアルコールに刺激を求め
る。ハーモニーのないところにロクな考えは浮かばない。官界、学会、財界の
指揮者は明るく正しいリズム、テンポ、ハーモニーをつくる、或いは結果とし
て現出することを心掛けられたら如何！

あ